

令和6年度 三河安城小学校グランドデザイン



マスコットキャラクター
こぞちゃん

教育目標 『共に生きる』

かしこく

よく聞き、
よく考え、
よく学ぶ子

なかよく

自分を大切に、
人を大切に、
周りを大切にする子

元気よく

明るい心、
明るいあいさつ、
たくましい体の子



〈めざす学校〉

- 子どもがよさや可能性をのびのびと伸ばせる学校
- 安心・安全であたたかい思いやりあふれる学校
- あいさつが気持ちよくできる学校
- 文化や伝統を受け継ぎ、地域に根ざした学校
- 家庭や地域と連携・協力し、信頼される開かれた学校

心理的安全性のもと

笑顔あふれる三河安城小

～ 令和「しん・かん・せん」プロジェクト ～

〈めざす子どもの姿〉

しん：真^{しんけん}剣^{とりくみ}な取組

学習・あいさつ・行事等に真剣に取り組む姿

かん：感^{かんしゃ}謝^{でんたつ}の伝達

感謝の気持ちを相手に伝える姿

せん：選^{せんたく}択^{りょく}力の向^{こうじょう}上

よりよい考えや方法を選択し、実行する姿

自ら考え、行動する姿

幸せに生きようとする姿

〈めざす教職員像〉

- 温かい愛情と情熱をもった教職員
- 子どものよさをとらえ、伸ばす教職員
- 協働体制に努め、使命感と責任感がある教職員
- 自己研鑽・研修等に打ち込み、指導力・実践力のある教職員
- 困ったときに知恵を出し合い、解決を図る教職員

チーム三河安城小

経営方針

- いのちの教育を軸に、夢や希望をもって自分らしく生きることができるとともに、**しなやかでたくましい心と体**を育てる。
- 個別最適な学びと協働的な学び(学び合い)による授業を進め、自ら学び深く考え、**主体的に行動する力**を育てる。
- 児童一人一人を大切に、適切な指導・支援に努め、**自己の可能性を伸ばす力**を育てる。

地域や家庭の支え、連携

○授業の改善・充実

自己肯定感 協働性

- 個別最適な学びと協働的な学び(学び合い)の一体的な充実
- 子ども主体の授業を目指した単元構想や教材、発問、板書等の工夫
- 考え、議論する道徳科授業・キャリア教育の推進
- SDGsとの関連も含めた体験学習や問題解決学習の重視

○教育環境づくり

安全安心な環境 協働性

- GIGAスクール推進(ICT機器の活用)のための整備、活用と研修
- 情報モラル教育の推進
- 学校司書等の人材の積極的な活用

○豊かな心を育む

幸福感 利他性

- 自他の命を大切に、しなやかでたくましく、思いやりのある心を育てる学級・学年づくり
- 一人一人の個性や存在を認め、支え合う関係づくり(人権尊重)
- 感謝の伝達から自己有用感の醸成
- 元気の歌声が響く学校づくり

○教育相談活動の充実

サポート

- いじめ・不登校に対する指導・支援
- 「いじめアンケート」、「ハートフルタイム」「Q-U検査の活用」
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士、外部機関の活用

○基本的生活習慣の定着

自己実現

- 目を見て明るく元気で、心に響くあいさつ(子ども主体の取組)
- 相手に伝わる感謝のことは
- よいことは進んで、続ける
- 自己決定力を高める指導

○健康で安全な生活を送る

心身の健康

- 健康管理、感染症対策の徹底
- 交通事故ゼロをめざす取組
- 防犯防災対策としての取組
- 施設、設備の点検
- 食育の推進
- アレルギー対策の徹底

☆ 運営上の工夫

- 行事で子どもの心を育てる
 - ・目的、活動内容を計画的に
- 集会の活性化(全校・児童・学年)
- プロジェクト活動の活発化
 - ・既存の活動の充実(主体的な取組)
 - ・新たな活動の創出
- 教育・時間対効果を考慮した行事設定と業務の効率化、業務整理
- PDCAサイクルの推進

☆ 健康・安全

※自的命は自的とする

- 命の授業の実施
- 登下校の指導・見守り
- 感染症対策の徹底
- 「交通安全教室」「防犯教室」の実施
- 避難訓練(火事・地震等)、不審者侵入対応訓練の実施と見直し
- スクールアシスタントの活用
- エビパン研修、救急法講習会など

☆ 家庭・地域との連携

- 家庭の協力
 - ・早寝・早起き・朝ご飯運動
- あいさつと感謝のことは(表現)
- 授業参観、運動会、学習発表会
- 地域教材、ボランティア、関係機関、施設の活用、ふれあいネット事業
- 学校評価の実施と教育活動の改善
- 学校ホームページ等で情報発信
- 青少年健全育成会、スクールボランティアの会